

# 岡山県 県立大生に通訳ガイド委嘱

岡山県は12日、外国人観光客に対して若者目線  
で岡山の魅力をもっとPRしてもらおうと、県立大（総  
社市窪木）の学生37人に「スチューデントアテン  
ダント（学生通訳ガイド）」を委嘱した。観光地

でのガイドやSNS（交流サイト）を使った情報  
発信を通じ、新型コロナウイルス禍からのインバ  
ウンド（訪日客）回復が期待される県内観光の盛  
り上げに一役買う。（吉川瑠美）

## 若者目線 訪日客へPR

アテンダントは県が2  
021年度から委嘱。感  
染拡大で活動が制約され  
ていたが、23年度はコロ  
ナの5類移行を踏まえて  
取り組みを本格化させる  
構えだ。英語でのコミュニ  
ケーションを学ぶ1、  
4年生の有志が担い、数  
回の実務研修後に訪日客  
へのガイドを実践。イン  
スタグラムなどで観光情  
報を紹介したり、PRゲ  
ッツを手がけたりもす  
る。

12日は代表の学生が伊  
原木隆太知事から委嘱状  
を受け取った後、岡山市

## SNSも活用 観光盛り上げ

の後楽園で初回の研修を  
実施。19人が参加して園  
内を巡り、外国語対応を  
担うスタッフから園の歴  
史やガイド時の注意点を  
英語で学んだ。オースト  
リアからの来園者を案内  
する様子も見学した。

保健福祉学部3年の市  
原菜奈世さん（21）は「コ  
ロナの影響緩和で日常的  
にさまざまな国の人を見  
かけるようになった。英  
語力を高めつつ学生同士  
でアイデアを出し合い、  
岡山のいいところをしっ  
かりと伝えたい」と話し  
ていた。

後楽園スタッフ（右）から  
外国人観光客向けのガイド  
について助言を受ける学生



（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。